

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

神奈川県横浜市 市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	34	対象	ド透I未訓方	救臨が感災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
3,752,969	79,612	非該当	非該当	7 : 1

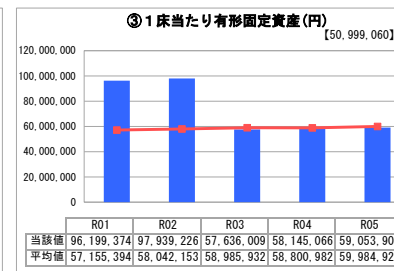
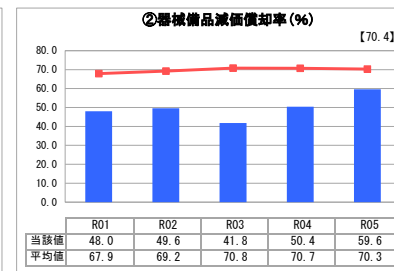
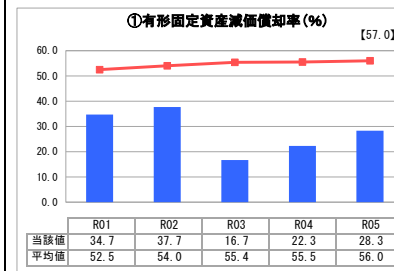
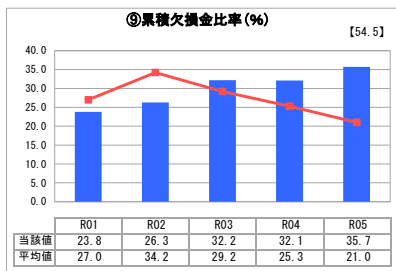
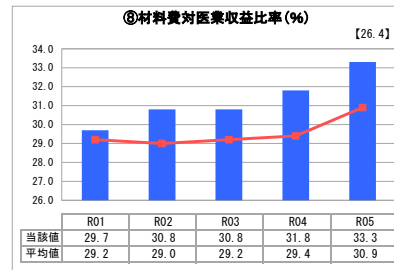
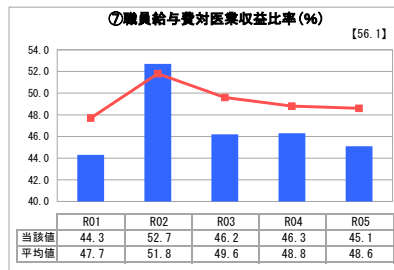
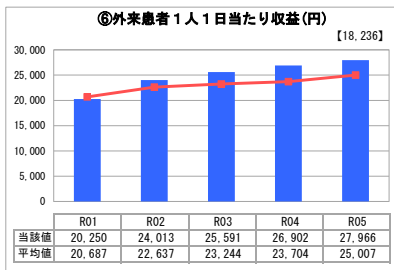
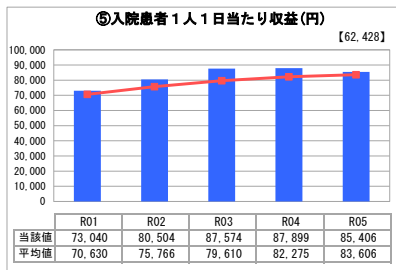
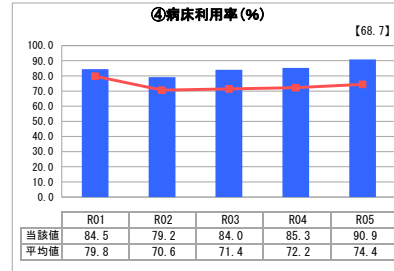
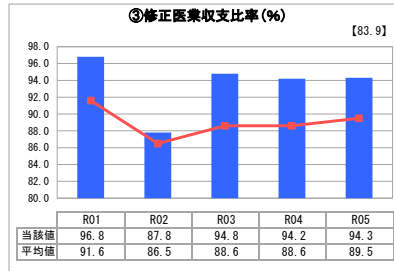
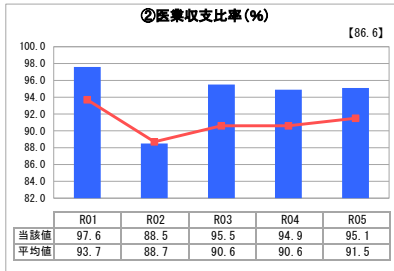
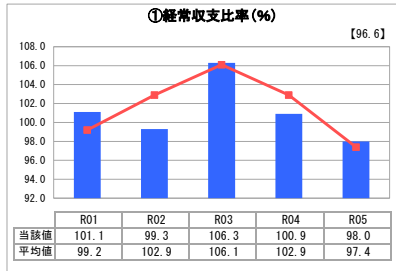
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
624	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	26	650
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
624	-	624

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の役割・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

高度急性期を中心とした総合病院であり、「がん」「救急」「周産期」「感染症」「災害医療」等、地域から必要とされる政策的医療等に積極的に取り組み、地域の基幹病院としての役割を果たします。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度は、高度急性期医療の提供を推進し、過去最高の新規入院患者を受け入れるなど、入院収益は+6.9億円、外来収益は+4.0億円の増収となりました。一方で、医療従事者の処遇改善費用に係る人件費の増や高度ながん治療薬等の使用量増加に伴う材料費の増により、費用は+12.7億円増加するとともに、コロナ対応に伴う補助金の減もあり、経常収支は6.3億円の赤字となりました。

提供する医療の高度化などに伴い、診療単価が上昇していますが、併せて材料費比率も高い水準となっています。

このため、引き続き一層の医療効率化や経費の適正化を図るとともに、安全で良質な高度急性期医療を提供することで、将来に渡って安定した経営基盤を確立していきます。

### 2. 老朽化の状況について

令和2年5月に新病院を開院し、新しい施設設備となっています。

今後、適切な修繕計画に基づき、設備の更新等を実施していきます。

### 全体総括

経営改善に取り組んだものの、賃金水準上昇や物価高騰の影響が大きく、経常収支は赤字となる大変厳しい決算となりました。

今後も安全で良質な医療の提供を行うとともに、医療機能の充実を進めることで入院患者を確保し、収益力の向上を目指します。

また、材料費等の経費の適正化を図ることなどにより、持続可能な経営を確保します。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

神奈川県横浜市 脳卒中・神経脊髄センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	ドI訓	救 臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
3,752,969	38,737	非該当	非該当	10：1

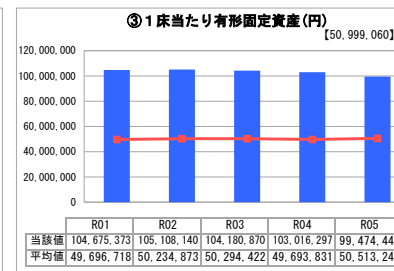
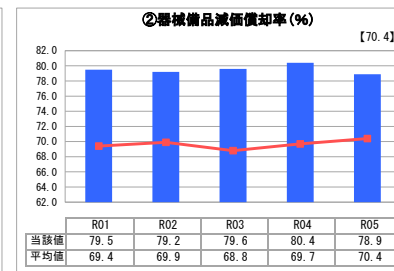
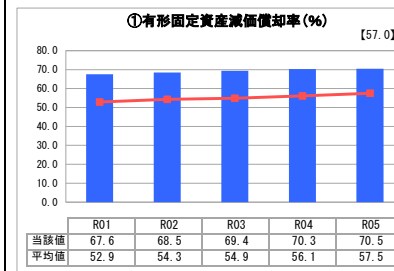
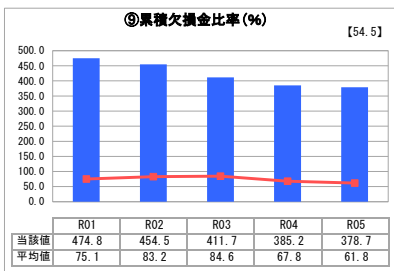
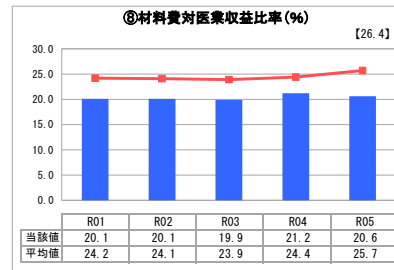
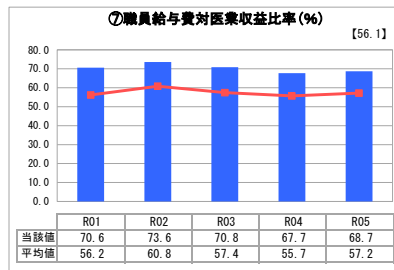
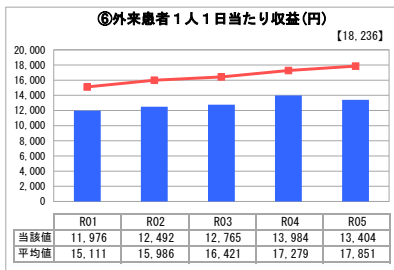
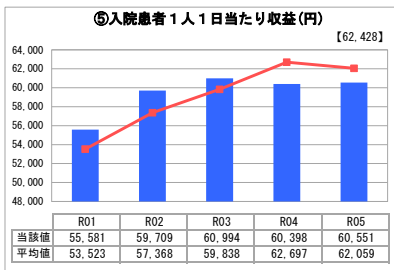
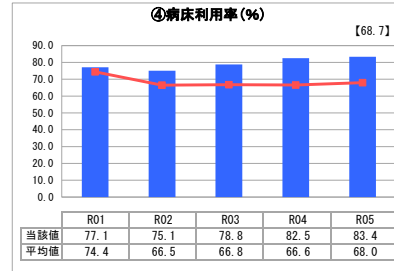
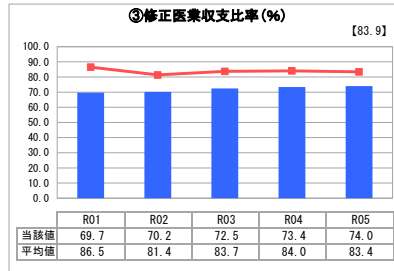
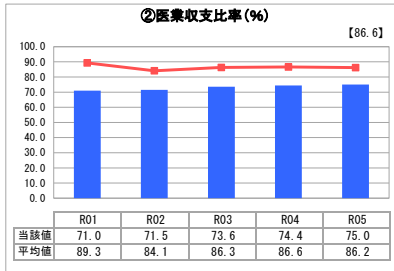
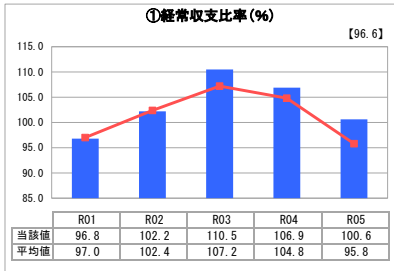
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
300	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	300
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
300	-	300

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の役割・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

### I 地域において担っている役割

政策的医療を含む中枢神経全般に対する高度急性期・急性期から回復期までの一貫した医療機能を活かし、「脳卒中」「神経疾患」「脊椎脊髄疾患」「リハビリテーション」の専門病院として先進的な医療と臨床研究に取り組んでいます。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度は、新規入院患者数や手術件数の増加、病床稼働率の向上により、入院収益を始めとする医業収益は最高額を更新しました。資金水準上昇や物価高騰の影響はあったものの、費用の増加を最小限にとどめた結果、経常収支においては、4年連続で黒字を確保しました。今後も安定的な経営基盤の確立に向け、引き続き経営改善に取り組みます。

#### 2. 老朽化の状況について

平成11年開院の施設であり、建物等の設備についてしゅん工から20年以上が経過する中、老朽化の影響が少しずつ発生してきています。今後は、適切な修繕計画に基づき、メンテナンスを行っていく必要があります。

#### 全体総括

他の医療機関からの紹介や外来診療からの新規入院患者を増加させ、予定入院・予定手術の対象となる患者の割合を高めることで医業収益の安定的確保を図ります。脳血管疾患を中心に「断らない救急」を徹底するとともに、各診療領域において専門医療を提供することで、引き続き市民の健康寿命延伸に貢献します。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

神奈川県横浜市 みなと赤十字病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	36	対象	ド透I未訓ガ	救臨が災地
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
3,752,969	74,148	非該当	非該当	7:1

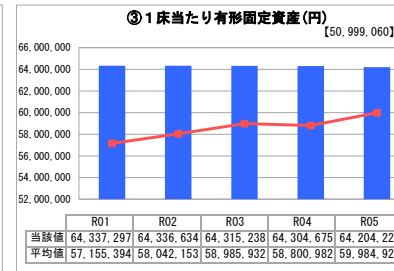
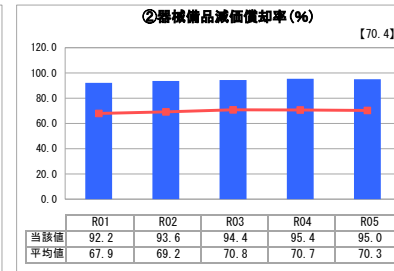
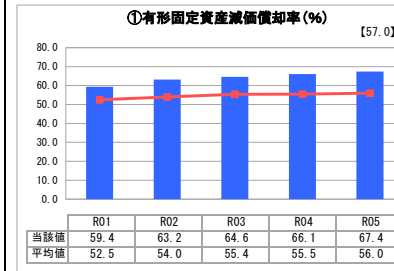
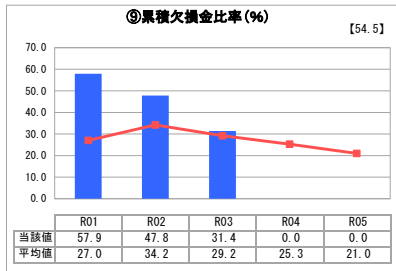
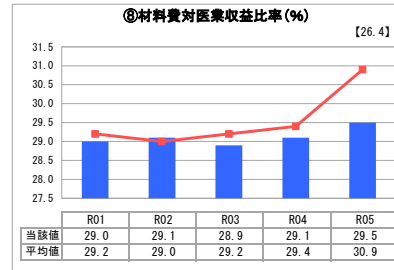
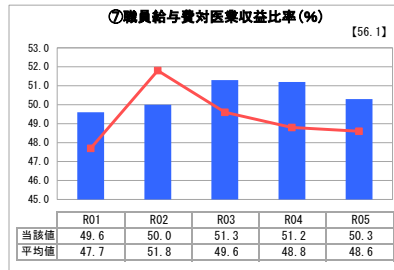
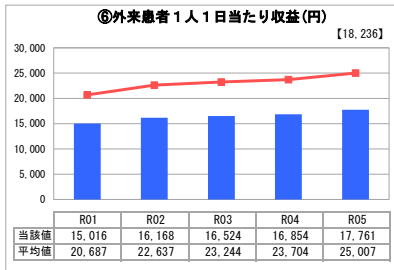
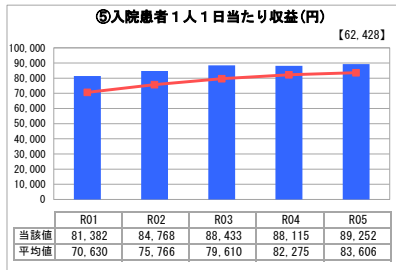
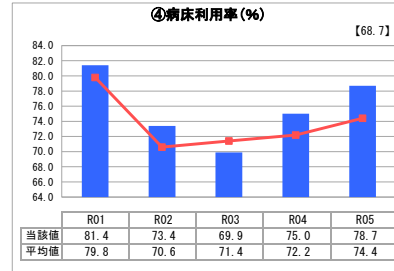
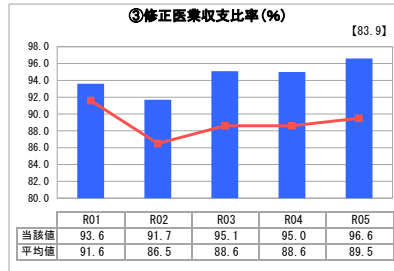
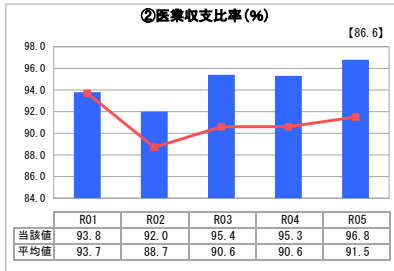
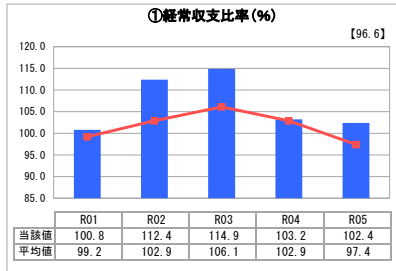
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(総核)
584	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
50	-	634
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
584	-	584

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
【	令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組(直近の実施時期)

機能分化・運営強化 (従来の両輪・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

### I 地域において担っている役割

日本赤十字社を指定管理者とし、本市との協定に基づいて「救急」「精神科救急」「合併症医療」「アレルギー疾患」「災害時医療」などの政策的医療を安定的に提供しています。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度は、賃金水準上昇や物価高騰の影響もあり、厳しい経営状況でしたが、昨年度に引き続き経常黒字を確保しました。

※本経営指標は、指定管理者である日本赤十字社が運営するみなと赤十字病院にかかる決算と横浜市病院事業会計を合算し、双方にかかる内部取引を相殺した数値を基に作成されています。

#### 2. 老朽化の状況について

平成17年開院であり、適切な修繕計画に基づき、設備の更新等を実施していきます。

### 全体総括

全国トップクラスである、救急の受け入れの更なる強化や、循環器分野等における最先端の医療を提供するなど、経営改善の取組を進めることで経常黒字を維持します。引き続き本市との協定に基づき、政策的医療を中心に質の高い医療を提供します。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。